

## 1 令和5年度当初予算（案） 総括表

### 予算の規模

会計	令和5年度 当初予算	令和4年度 6月補正後	増減額	伸び率
一般会計	580億2,000万円	531億8,168万円	48億3,832万円	9.1%
特別会計	247億1,872万円	247億849万円	1,024万円	0.0%
公営企業会計	46億2,867万円	44億61万円	2億2,806万円	5.2%
合計	873億6,740万円	822億9,077万円	50億7,663万円	6.2%

※ 各数値の表示未満は四捨五入しているため合計と内訳が一致しない場合があります。以下の表同じ。  
令和4年度一般会計当初予算は骨格予算として編成したため、6月補正（肉付け）後の予算額と比較

### ■特別会計の内訳

会計	令和5年度 当初予算	令和4年度 当初予算	増減額	伸び率
国民健康保険事業	112億1,097万円	112億9,981万円	▲8,884万円	▲0.8%
後期高齢者医療	15億2,390万円	14億9,488万円	2,902万円	1.9%
介護保険事業	119億8,385万円	119億1,380万円	7,005万円	0.6%
合計	247億1,872万円	247億849万円	1,024万円	0.0%

### ■公営企業会計の内訳

会計	区分	令和5年度 当初予算	令和4年度 当初予算	対前年度比	伸び率
水道事業	収益的収入	17億8,704万円	18億1,764万円	▲3,060万円	▲1.7%
	収益的支出	17億6,929万円	16億570万円	1億6,359万円	10.2%
	資本的収入	6,745万円	3,290万円	3,455万円	105.0%
	資本的支出	11億4,911万円	9億8,975万円	1億5,936万円	16.1%
下水道事業	収益的収入	9億2,496万円	9億1,373万円	1,123万円	1.2%
	収益的支出	8億8,206万円	8億6,153万円	2,053万円	2.4%
	資本的収入	4億2,603万円	3億2,518万円	1億85万円	31.0%
	資本的支出	7億6,757万円	6億7,949万円	8,808万円	13.0%

※ 資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額は、過年度分損益勘定留保資金等で補てん

## 2 令和5年度一般会計当初予算（案）の概要

### 予算編成の考え方

令和5年度は、第2次鹿屋市総合計画の基本構想に掲げるまちづくりの将来像

“ひとが元気！まちが元気！「未来につながる健康都市 かのや」”

の実現に向け、5つの基本目標に加え、「鹿屋市人口減少対策ビジョン」や「第2次かのや農業・農村戦略ビジョン」等に基づいた施策・事業を着実に推進する予算として編成しました。

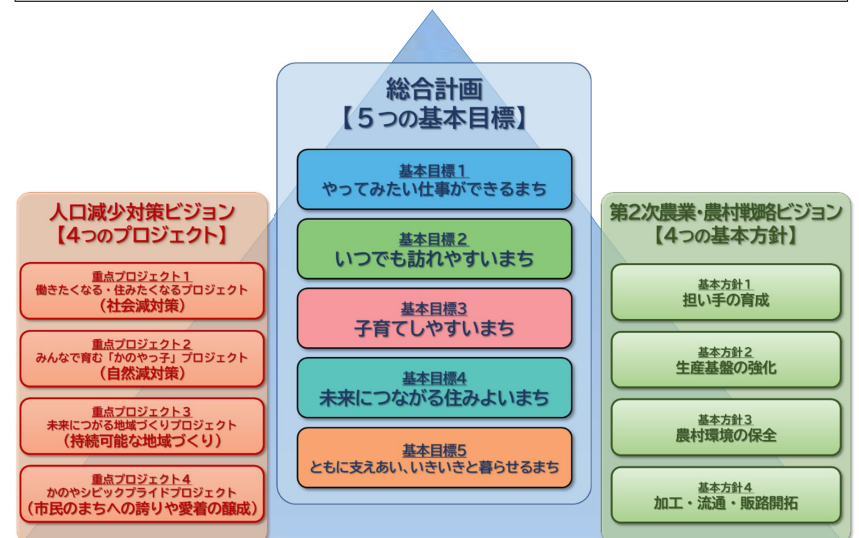
令和5年度 鹿屋市一般会計当初予算

**580億2,000万円**

前年度6月補正後予算比（+48億3,832万円 +9.1%）

### 施策体系のイメージ

ひとが元気！まちが元気！  
「未来につながる健康都市 かのや」



## 当初予算総額

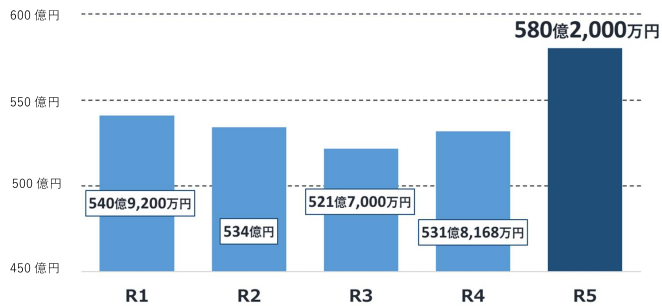
### 一般会計当初予算額の総額

**580億2,000万円**

(対前年度比 +48億3,832万円 +9.1%)

※ 令和4年度当初予算は骨格予算として編成したため、6月補正(肉付け)後の予算額と比較。以下同じ。

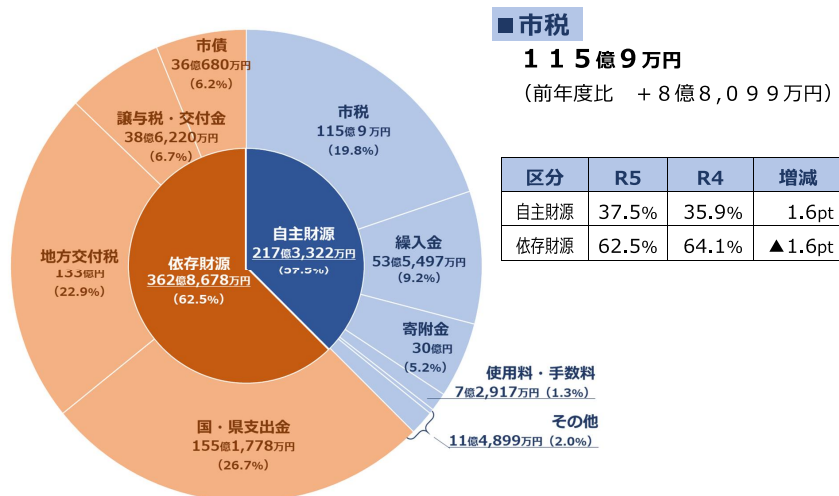
### 一般会計当初予算額の推移



※R4は6月補正後の予算額

## 歳入・歳出の構成

### 歳入予算の内訳



### 歳出予算(性質別)の内訳

#### ■ 義務的経費 ※人件費・扶助費・公債費の合計

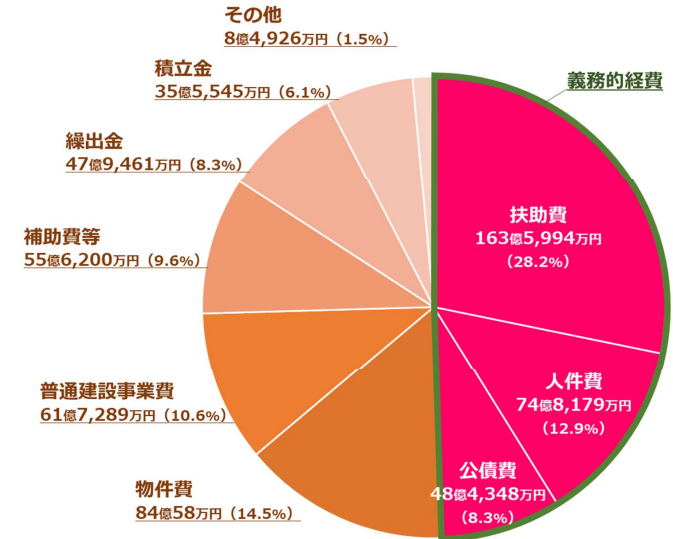
**286億8,521万円**

(前年度比 +5億4,218万円)

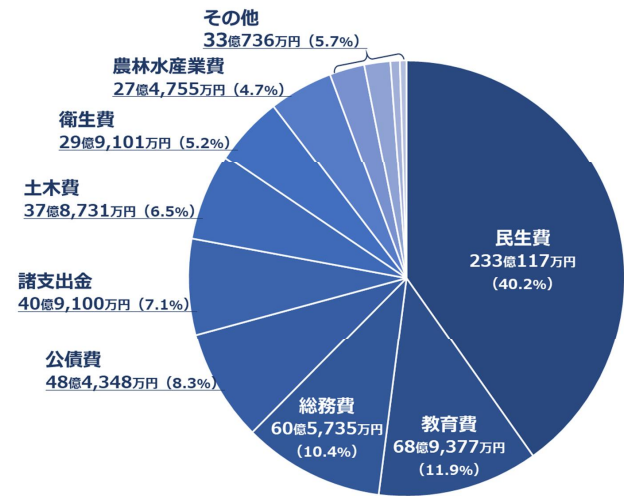
#### ■ 普通建設事業費

**61億7,289万円**

(前年度比 +24億8,193万円)



### 歳出予算(目的別)の内訳



## 市債

### 市債の活用

#### ■発行額

36億680万円

(前年度比 +18億770万円)

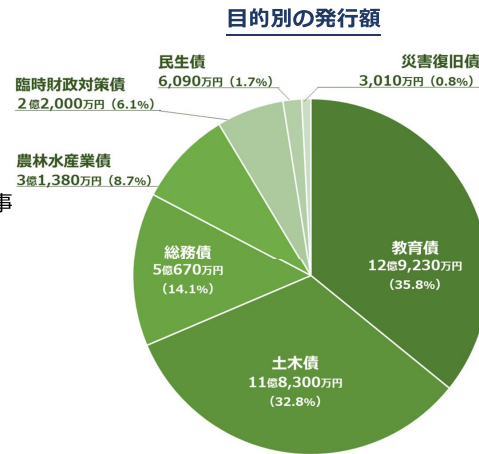
#### ■主な活用事業

- 小・中学校施設の長寿命化改修工事
- 平和市営住宅の改修工事 など

#### ■市債残高 (R5年度末見込み)

365億9,020万円

(前年度末比 ▲10億6,426万円)



## 基金

### 基金の活用

#### ■活用額

53億5,497万円

(前年度比 +9億9,930万円)

#### ■主な活用基金

基金名	活用額	内容
ふるさと鹿屋応援基金	28億8,400万円	子育て支援や地域活性化のための施策 など
地域振興基金	4億1,569万円	総合交通対策 など
財政調整基金	13億 519万円	年度間の財政調整

#### ■基金残高 (R5年度末見込み)

214億9,589万円

(前年度末比 ▲17億7,878万円)

## <5つの基本目標ごとの概要>

### 基本目標1 やってみたい仕事ができるまち

- 基本施策① 活力ある農林水産業の振興
- 基本施策② 商工業の振興と雇用の促進

### 基本目標2 いつでも訪れやすいまち

- 基本施策① 地域資源を生かした観光の推進
- 基本施策② スポーツによる交流の推進
- 基本施策③ 移住・定住の推進

### 基本目標3 子育てしやすいまち

- 基本施策① 子育て支援の充実
- 基本施策② 未来につながる教育の充実

### 基本目標4 未来につながる住みよいまち

- 基本施策① 快適な生活基盤づくりの推進
- 基本施策② 安全で安心な生活の実現
- 基本施策③ 自然環境にやさしいまちづくりの推進

### 基本目標5 とともに支えあい、いきいきと暮らせるまち

- 基本施策① 地域福祉の充実
- 基本施策② 健康づくり・生きがいづくりの推進
- 基本施策③ 共生協働・コミュニティ活動の推進



新…新たな取組

拡…既存の取組内容や対象の拡大（波線部分が拡充ポイント）

# 基本目標 1 やってみたい仕事ができるまち 22億4,643万円

## 基本施策① 活力ある農林水産業の振興

### ■ 畑地高度利用促進事業（農政課） 2,121万円

畑地かんがい受益地域において、畑地かんがい水の活用によるサツマイモ収穫後の輪作体系構築を促進し、農家所得の向上を図ります。

### 新 ▶ 畑かん水利用率向上・輪作体系の確立 2,121万円

・畑地かんがい受益地域（肝属中部、笠野原、曾於南部）のサツマイモの後作に対象作物を作付けし、出荷した農家を支援



対象作物	支援額
サラダごぼう、にんじん、キャベツ ブロッコリー、秋かぼちゃ	10アール当たり <b>5,500円～15,000円</b>

※サツマイモの後作が条件

### ■ 畜産産地力向上対策事業（畜産課） 2億5,519万円

畜産経営体の施設等の整備や繁殖農家・肥育農家による生産基盤の維持・拡大の取組に対する支援を強化します。

### 新 ▶ 小規模畜産農家の支援 803万円

・繁殖母牛20頭未満農家の子牛自家保留に対する支援



### ▶ 畜産施設整備の支援 2億4,716万円

・国の畜産クラスター事業を活用した収益力強化に必要な施設整備の支援

### ■ 鳥獣被害防止対策事業（林務水産課） 6,372万円

有害鳥獣による農作物への被害を防止し、農業経営の安定を図ります。

### 新 ▶ 里山林整備の推進 225万円

・鳥獣を寄せ付けない緩衝帯機能を回復するための里山林整備の支援

### ▶ 有害鳥獣による農作物被害対策 6,147万円

・電気柵やワイヤーメッシュ柵の設置、有害鳥獣捕獲奨励金の支給



### ■ 漁業経営強化支援事業（林務水産課） 900万円

鹿屋市漁協に出荷される自販加工用原魚を確保するため、漁協が販売する種苗（稚魚）を購入した養殖事業者を支援します。

### 新 ▶ 種苗購入費の支援 900万円

・鹿屋市漁協が販売する種苗を購入した養殖事業者への支援

### ■ 新たな食・農ビジネス創出事業（産業振興課） 3,215万円

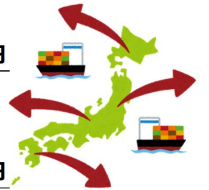
本市の基幹産業である第一次産業を基軸とした地域6次産業化による高付加価値化や販路開拓等により、市民所得の向上を図ります。

### 新 ▶ 「鹿屋の食」輸出拡大へのチャレンジ 1,028万円

・輸出商社と連携した輸出先国（タイ、台湾）のマーケティング調査及びプロモーション活動

### ▶ 「鹿屋の食」高付加価値化プロジェクト 2,187万円

・鹿屋の食材を活用した新商品の製品化・販路開拓  
・一流料理人による鹿屋の食材活用イベントの開催



## 基本施策② 商工業の振興と雇用の促進

### ■ 新たな工業団地整備事業（産業振興課） 1,323万円

戦略的な企業誘致を行うため、新たな工業団地（県農業開発総合センター大隅支場跡地）整備の基本計画を策定します。

### ▶ 新たな工業団地整備の基本計画策定 1,323万円



### ■ 多様な働き方応援事業（商工振興課） 7,803万円

本市における多様な働き方を推進し、企業誘致や移住に資するため、都市圏企業と市内企業の交流を促すとともに、異業種交流やテレワークの拠点として、市民交流センター情報プラザにコワーキングスペース（共有環境）を整備します。

### 新 ▶ 地方創生テレワークの推進 7,803万円

項目	内容
取組内容	・都市圏企業と市内企業の交流促進 ・コワーキングスペース（テレワーク、自習環境等）
オープン時期	令和6年4月（予定）



### ■ 地元就職支援事業（商工振興課） 1,444万円

新規学卒者や若年者のUIJターン希望者の地元企業への就職を促進するため、地元事業所の採用活動に官民が連携して取り組みます。

### ▶ 地元企業の採用活動支援 1,050万円

支援金	対象経費	支援内容
新 若者人材採用活動支援補助金	インターンシッププログラム作成経費 など	上限 <b>30万円</b> (補助率 1/2)
求人情報発信支援補助金	就職情報サイト掲載経費	上限 <b>30万円</b> (補助率 1/2)





## 基本目標 2 いつでも訪れやすいまち

### 29億6,196万円

#### 基本施策① 地域資源を生かした観光の推進

##### ■かのやばら園リニューアル事業（都市政策課） 1,942万円

今春のリニューアルオープンに合わせて、より多くの来園者が訪れる魅力あるばら園の整備を行います。

###### ▶リニューアルオープンに伴う施設整備

1,942万円

- ・新たなフォトスポットの整備
- ・無料 Wi-Fi アクセスポイントの設置（12箇所）等



##### ■かのや観光PR事業（ふるさとPR課） 2,568万円

里山エリアや戦跡など、本市の様々な地域資源を活用した観光PRを行い、市外からの誘客促進を図ります。

###### ▶里山ツーリズムの推進

92万円

- ・高隈地区でのモニター実証を踏まえたツアー実施（田植え、稲刈り等）

###### ▶国際クルーズ船受入再開に伴うインバウンド誘客等の推進

390万円

- ・マリポートかごしま～鹿屋港間の高速船を活用するツアーへの助成

###### ▶「戦争遺跡」を生かした観光PRの推進

309万円

- ・平和学習ガイドのスキルアップ
- ・市内に宿泊する修学旅行に係る宿泊費助成

対象者	助成内容
修学旅行（市内宿泊）を企画する学校	1人当たり <b>3,000円</b>



#### 基本施策② スポーツによる交流の推進

##### ■かごしま国体・かごしま大会開催事業（市民スポーツ課） 4億6,597万円

本市で実施される自転車（ロード・レース）、バレーボール、ローイング（ボート）、スポーツウェルネス吹矢（フェンestrレションポーツ）の円滑な大会運営を行うとともに、花いっぱい運動を推進し、市民一体となって盛り上げます。

###### ▶かごしま国体・かごしま大会の開催に向けた取組

4億6,597万円

- ・円滑な大会開催に向けた取組やPR活動
- ・県の補助金を活用した競技艇保管庫の整備（輝北ダム）



##### ■スポーツ施設整備事業（市民スポーツ課） 4億6,883万円

市民がスポーツに親しみやすい環境づくりや各種大会、スポーツ合宿誘致による交流を促進するために、スポーツ施設の整備を行います。

###### ▶野里運動施設の整備

4億1,567万円

項目	内容
整備内容	・テニスコート 10面（人工芝、ハード、壁打ち） ・サッカー場 1面 ・ウォーキングコース 約0.5km ・管理棟（トイレ、更衣室等） ・駐車場
整備面積	約4.5ha
工事期間	令和5～6年度



###### ▶スポーツ施設の整備

5,316万円

- ・スポーツ施設の設備整備・修繕等  
（鹿屋運動公園野球場スコアボード改修など）



#### 基本施策③ 移住・定住の推進

##### ■移住・定住促進事業（地域活力推進課） 2,247万円

移住・定住を促進するため、都市圏からの移住者や本市へ移住してテレワークを行う方を支援します。

また、都市住民を対象とした「かのやローカルチャレンジスクール」を開催し、地域に根付いた関係人口の創出と移住・定住のきっかけづくりに取り組みます。

###### ▶移住者への支援

1,481万円

《主な支援内容》

支援金	支援内容
移住就業支援金	単身の場合： <b>60万円</b> 複数の場合： <b>100万円</b> （18歳未満加算 <b>100万円</b> ）
テレワーク移住支援金	単身の場合： <b>30万円</b> 複数の場合： <b>50万円</b> （18歳未満加算 <b>25万円</b> ）

新

###### ▶かのやローカルチャレンジスクールの開催

400万円

- ・都市住民を対象に、本市での起業等を目指すオンラインスクール、ワークショップ、現地フィールドを開催
- ・自らのスキルと地域資源を掛け合わせ、地域活性化の取組やコミュニティビジネスにチャレンジする人材育成

## 基本目標3 子育てしやすいまち

### 40億811万円

#### 基本施策① 子育て支援の充実

##### ■ 高校生応援給付金支給事業（子育て支援課） 1億9,848万円

現在、児童手当の支給対象年齢となっていない16歳～18歳までの子どもを養育する方の経済的な負担を軽減するため、市独自の手当を支給します。

##### 新 ▶ 高校生応援給付金の支給 1億9,848万円



対象者	支給額
16歳～18歳の子どもを養育している方	子ども1人当たり 月額 <b>5,000円</b>

##### ■ 学校給食費負担軽減事業（学校教育課） 1億8,988万円

子育て世帯の経済的負担を軽減するため、小・中学生の学校給食費の半額を支援します。

##### 新 ▶ 学校給食費の負担軽減 1億8,988万円

区分	給食費（見込額）	支援額	年間支援額
小学生	1食当たり 250円	1食当たり <b>125円</b>	約 <b>25,000円</b>
中学生	1食当たり 300円	1食当たり <b>150円</b>	約 <b>30,000円</b>

##### ■ 条件付き奨学資金事業（学校教育課） 54万円

定住人口の確保を図るため、一定期間以上の市内在住等を条件に、奨学資金の返還を免除する制度の構築に向けた環境整備や返還方法の拡充を行います。

##### 新 ▶ 条件付き奨学資金制度の創設（環境整備のため予算なし）

- 令和6年度制度開始に向けた条例改正等の環境整備

##### 新 ▶ 奨学資金返還方法の拡充・返還期間の延長 54万円

- コンビニ納付による返還に対応
- 返還期間を原則5年以内から10年以内に延長



##### ■ わくわくキッズまつり事業（子育て支援課） 300万円

子育て支援の一環として、子育て世帯が親子で体験しながら学ぶ、交流イベントを開催するとともに、本市が実施している子育て支援施策等の情報提供を行います。

##### 新 ▶ わくわくキッズまつりの開催 300万円

- 親子クッキング（食育）や親子工作教室、キャラクターショー、遊具の設置など、親子で学び・体験できるイベントを開催



##### ■ 出産・子育て支援事業（子育て支援課・健康増進課） 1億402万円

「出産・子育て応援交付金」の交付や伴走型相談支援、産後ケアの自己負担を引き下げるなど、出産・子育てに関する支援の充実を図ります。

##### ▶ 出産・子育て応援交付金の交付 1億106万円

- 出産・子育て応援交付金の交付、妊婦、新生児に対する伴走型相談支援

対象者	交付時期	支援額
令和5年4月以降に妊娠した方	妊娠届出後の面談後	妊婦1人当たり <b>5万円</b>
令和5年4月以降に出産した方	妊娠8か月・出産後の面談後	子ども1人当たり <b>5万円</b>

##### 拡 ▶ 宿泊産後ケアの経済的負担軽減 296万円

対象者	支援内容
宿泊産後ケアを利用する母親	自己負担額（課税世帯の場合） 1日当たり 9,000円 → <b>6,000円に軽減</b>



（例）助産所 1日当たり利用料金：40,000円  
【内訳】自己負担：9,000円 → 6,000円  
市負担：31,000円 → 34,000円

#### 基本施策② 未来につながる教育の充実

##### ■ 小・中学校大規模改修事業（教育総務課） 13億9,794万円

老朽化が進んでいる小・中学校施設の大規模改修を行い、安全で快適な学校環境の充実を図ります。

##### ▶ 小・中学校施設の改修 13億9,794万円

区分	改修内容	学校名
小学校	長寿命化（屋内運動場）	西原小、笠野原小、寿小
	防音機能復旧	寿小
	大規模改造（空調等）	東原小、吾平小、細山田小、串良小、上小原小
	防災機能強化（外壁）	西俣小
中学校	大規模改造（空調）	吾平中、上小原中

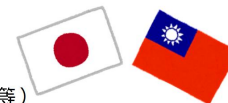


##### ■ グローカル人材育成事業（学校教育課） 652万円

国立台北教育大学との連携協定に基づく人的交流や教育連携、英語唱唱弁論大会等を行い、英語教育の推進と主体的に行動できる人材の育成を図ります。

##### ▶ 国立台北教育大学との連携 428万円

- 協定締結に基づいた教育実習生の受入れ
- 児童・生徒の台北への派遣（体験留学、ホームステイ等）



新…新たな取組

拡…既存の取組内容や対象の拡大（波線部分が拡充ポイント）

## 基本目標4 未来につながる住みよいまち

41億8,679万円

### 基本施策① 快適な生活基盤づくりの推進

#### ■コンパクトシティ推進事業（建築住宅課・都市政策課） 9,460万円

鹿屋市立地適正化計画に定める居住誘導区域及び地域生活拠点維持区域内の住宅取得に対する補助金の創設や、中心市街地の低未利用地利活用に向けた現況調査等を実施します。

#### 新 ▶居住誘導区域・地域生活拠点維持区域内住宅取得支援補助金の創設 8,220万円

区分	基本額	加算条件	合計
新築	30万円	子育て世帯、新婚世帯、県外からの移住等 (条件に応じて加算)	最大 100万円
中古	20万円		

#### 新 ▶中心市街地の低未利用地利活用に向けた調査 680万円

・低未利用地の現況調査、所有者・民間事業者等の利活用意向調査

#### ▶都市計画道路文化線の用地測量 560万円

・計画区域内の土地の測量（対象区間約460m）



#### ■道路整備事業（道路建設課、農地整備課） 9億6,795万円

主要幹線道路や農道、林道を整備するとともに、老朽化した舗装・側溝の修繕や除草伐採等を実施し、市民の生活環境の整備・改善を図ります。

#### ▶主要幹線道路・農道等の整備 3億88万円

・2号水道線、西原46号線、東原線、田崎寿線、大山街道中郷線 ほか

#### ▶市道等の維持・補修、除草伐採、橋りょう点検 6億6,707万円

・野里川西線、細山田中央線、川東新線 ほか

#### ■市営住宅改善・改修事業（建築住宅課） 10億6,679万円

入居者が安心して暮らせる市営住宅とするため、計画的に改善・改修を行い、安全で良好な居住環境の向上を図るとともに、入居率の低い市営住宅の共益費の負担軽減を図ります。

#### ▶市営住宅の改善・改修 10億5,937万円

《主な改善・改修住宅》

住宅名	内容
平和市営住宅（西原）	住宅改善工事（5～7号棟）、給水塔解体等
宮之下住宅（串良）	解体工事

#### 新 ▶市営住宅共益費負担への支援 742万円

・入居率の低い市営住宅の共益費負担を軽減

### 基本施策② 安全で安心な生活の実現

#### ■危険空き家解体支援事業（安全安心課） 2,700万円

危険空き家の解体費用の一部を支援し、危険空き家の解消を推進するとともに、居住誘導区域及び地域生活拠点維持区域内の支援を強化することで土地の有効活用を図り、都市機能施設等の集約によるコンパクトなまちづくりを目指します。

#### ▶危険空き家解体支援の強化 2,700万円

・居住誘導区域及び地域生活拠点維持区域内の危険空き家解体費用の支援強化

対象区域	基本額	加算条件	合計
・居住誘導区域 ・地域生活拠点維持区域	30万円	解体後、住宅建設等 (条件に応じて加算)	最大 60万円
上記以外	30万円	—	最大 30万円



#### ■雨水・排水対策事業（都市政策課、道路建設課） 4億6,998万円

幹線排水路等の整備や公共施設を活用した流出抑制施設を整備することにより、浸水・冠水箇所の改善を図ります。

#### ▶道路冠水や宅地浸水防止のための排水路整備 4億6,255万円

・旭原（5号排水路）、川西、野里、西原、郷之原地区

#### ▶公共施設を活用した雨水流出抑制施設の整備 743万円

・ひまわり公園（広場）を活用した雨水流出抑制施設の設置



### 基本施策③ 自然環境にやさしいまちづくりの推進

#### ■環境対策推進事業（生活環境課、畜産課） 3億8,163万円

地球温暖化対策実行計画の策定や資源物再商品化の対象を拡大するなど、「ゼロカーボンシティかのや」の実現に向けた取組を推進します。

また、アンモニア臭分解メッシュ柵の設置や消臭資材の活用、家畜排せつ物自己処理施設の整備促進等による畜産環境対策を推進します。

#### ▶「鹿屋市地球温暖化対策実行計画」の改定 1,270万円

・温室効果ガスの総排出量調査等の現状分析、将来推計  
・温室効果ガスの削減目標や再エネ導入目標の設定 など

#### 拡 ▶資源物リサイクル対象の拡大 7,542万円

・新たにプラスチック製品のリサイクル開始（これまではプラスチック製容器包装のみ）

#### ▶畜産環境対策の推進 1,909万円

新  
・消臭効果の高いアンモニア臭分解メッシュ柵の設置  
・市畜産環境センター利用農家の家畜排せつ物自己処理施設整備の支援

新…新たな取組

拡…既存の取組内容や対象の拡大（波線部分が拡充ポイント）

## 基本目標5 ともに支えあい、いきいきと暮らせるまち 10億9,661万円

### 基本施策① 地域福祉の充実

#### 子ども・高齢者見守り支援事業（高齢福祉課・子育て支援課） 2,704万円

保育所等へ通う子どもや高齢者の安全・安心を確保し、安心して暮らすことができる環境づくりを支援します。

#### 新 ▶ 保育所等の送迎用バスの見落とし防止対策等支援 2,654万円

・保育所等における子どもの安全・安心を確保するための対策を支援

対象者	支援内容
保育所・認定こども園 放課後児童クラブ等	<ul style="list-style-type: none"> <li>送迎用バスの見落とし防止装置導入</li> <li>登園管理システム導入</li> <li>見守りタグ（GPS）の導入</li> </ul>



#### 新 ▶ 高齢者見守り機器の購入支援 50万円

・IoT機器を活用した高齢者の見守り機器の導入支援

対象者	支援内容	支援額
市内に居住する高齢者 と別に居住する親族	<ul style="list-style-type: none"> <li>動作感知センサー</li> <li>家電型機器又は家電設置型機器</li> </ul>	上限 <b>1万円</b> (補助率1/2)

#### 農福連携推進事業（農政課） 263万円

障がいのある方が農業分野での活躍を通じて、自信や生きがいを創出し、社会参画を促す、農福連携の更なる推進を図ります。

#### 新 ▶ 自社農園型農福連携の支援 200万円

・自社農園で農業に取り組む福祉事業者の支援

対象者	対象経費	支援額
自社農園で農業に 取り組む福祉事業所	<ul style="list-style-type: none"> <li>農業用資材の購入経費</li> <li>農業用機械の購入経費</li> </ul>	上限 <b>100万円</b> (補助率1/2)

#### ▶ 農福連携支援体制の確立 63万円

・農福連携ネットワーク会議の開催  
 ・農業者と福祉事業者のマッチング支援  
 ・技術支援アドバイザー派遣による農業技術の指導・助言



### 基本施策② 健康づくり・生きがいの推進

#### 文化会館長寿寿命化事業（生涯学習課・政策推進課） 8,933万円

市民の文化・芸術活動の拠点である文化会館を「鹿屋市文化会館長期修繕計画」に基づき計画的に修繕・改修します。

#### ▶ 文化会館の長寿命化改修 8,883万円

・舞台照明操作設備

#### 新 ▶ 文化ゾーンのあり方検討 50万円

・文化会館、図書館のあり方（機能等）に関する類似施設の調査、情報収集



#### 文化のまち鹿屋魅力アップ事業（生涯学習課） 3,464万円

多くの市民が魅力あふれる本物の文化に触れる機会を提供し、市民が誇りと愛着を持てる文化の香り高いまちづくりを推進します。

#### 拡 ▶ 文化事業の充実 3,464万円

・劇団四季によるミュージカル公演の開催  
 ・鹿屋発ボップカルチャーイベント「りなかる！」の開催



### 基本施策③ 共生協働・コミュニティ活動の推進

#### 地域活動基盤強化事業（地域活力推進課） 1,050万円

地域活動の基盤である町内会が実施する地域の課題解決や交流に要する経費の一部を支援し、町内会活動の活性化を図ります。

#### 拡 ▶ 町内会活動への支援強化 1,050万円

・地域の課題解決や交流を促進するための町内会活動支援金を交付

区分	内容	支援額
地域の課題解決 を推進する事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>高齢者宅の粗大ごみ搬出支援</li> <li>空き家や空き地の維持管理、活用</li> <li>有償ボランティア</li> <li>子ども食堂の開設 など</li> </ul>	上限 <b>15万円</b>
地域の融和を 図る交流事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の祭り</li> <li>世代間交流の取組</li> <li>多文化共生の取組 など</li> </ul>	





## 効率的・効果的な行政サービスの提供

### (1) マイナンバー制度の推進

#### ■ マイナンバーカードの利活用促進 (デジタル推進課) 202 万円

マイナンバーカードを活用できるプラットフォームの構築により、市民の利便性向上と行政事務の効率化を図り、地域のデジタル化を推進するとともに、マイナンバーカードの普及促進につなげます。

#### 新 ▶ マイナンバーカードを活用したサービスの展開 202万円

- ・ 行政文書等を即時かつ確実にスマートフォンに通知できる環境整備
- ・ 子育て関連手続き等の電子化の実証



### (2) デジタル・ガバメントの推進

#### ■ メタバース活用の検討 (実証事業) (デジタル推進課) 605 万円

メタバース (仮想空間) 内での情報発信を通じて、デジタル関係人口を創出するため、メタバース上に鹿屋市を身近に感じられる環境整備を検討します。

#### 新 ▶ 共創ワークショップの開催 605万円

- ・ 各関係部門を横断した職員ワークショップを開催し、メタバースを活用した関係人口創出のアイデア出し (令和 6 年度以降実現のための仕様書作成) を行います。



#### ■ 高度 IT 人材等交流育成事業 (産業振興課) 302 万円

本市が抱える地域の課題に対し、デジタル技術などを活用してこれまでにない解決策 (アイデア) を考え出すため、都市部の IT エンジニアやビジネスプランナー、市内の企業や高校生、市職員等の地元人材など、様々なスキルを持ったメンバーによる高度 IT 人材等交流イベントを開催します。

#### 新 ▶ 高度 IT 人材等交流イベントの開催 302万円

- ・ 地域課題解決のためのアイデアコンテストの開催
- ・ イベントを通じた都市部人材の参加による関係人口の創出・拡大や参加者同士の交流による地元人材の育成、職員のスキルアップ



## 【参考資料】

### 1 令和 5 年度一般会計歳入歳出予算対前年度比較表

(1) 歳入 (単位: 千円)

款	令和 5 年度 当初予算 (a)	令和 4 年度 6 月補正後 (b)	増減額 (a)-(b) (c)	増減率 (c)/(b) %
1 市税	11,500,090	10,619,100	880,990	8.3
2 地方譲与税	526,749	558,749	▲ 32,000	▲ 5.7
3 利子割交付金	3,000	4,000	▲ 1,000	▲ 25.0
4 配当割交付金	23,000	16,000	7,000	43.8
5 株式等譲渡所得割交付金	24,000	14,000	10,000	71.4
6 法人事業税交付金	162,994	151,000	11,994	7.9
7 地方消費税交付金	2,480,000	2,181,000	299,000	13.7
8 ゴルフ場利用税交付金	9,000	8,000	1,000	12.5
9 環境性能割交付金	24,000	47,000	▲ 23,000	▲ 48.9
10 国有提供施設等所在市町村助成交付金	500,000	500,000	0	0.0
11 地方特例交付金	95,000	58,000	37,000	63.8
12 地方交付税	13,300,000	12,700,100	599,900	4.7
13 交通安全対策特別交付金	14,460	15,000	▲ 540	▲ 3.6
14 分担金及び負担金	179,495	185,009	▲ 5,514	▲ 3.0
15 使用料及び手数料	729,170	740,850	▲ 11,680	▲ 1.6
16 国庫支出金	9,771,570	10,233,494	▲ 461,924	▲ 4.5
17 県支出金	5,746,209	5,789,908	▲ 43,699	▲ 0.8
18 財産収入	85,900	83,194	2,706	3.3
19 寄附金	3,000,002	2,200,001	800,001	36.4
20 繰入金	5,354,973	4,355,670	999,303	22.9
21 繰越金	600,000	600,000	0	0.0
22 諸収入	283,588	322,500	▲ 38,912	▲ 12.1
23 市債	3,606,800	1,799,100	1,807,700	100.5
歳入合計	58,020,000	53,181,675	4,838,325	9.1
内 自主財源	21,733,218	19,106,324	2,626,894	13.7
訳 依存財源	36,286,782	34,075,351	2,211,431	6.5

(2) 歳出 (単位: 千円)

款	令和 5 年度 当初予算 (a)	令和 4 年度 6 月補正後 (b)	増減額 (a)-(b) (c)	増減率 (c)/(b) %
1 議会費	284,846	283,034	1,812	0.6
2 総務費	6,057,354	5,893,786	163,568	2.8
3 民生費	23,301,173	22,815,875	485,298	2.1
4 衛生費	2,991,014	3,043,592	▲ 52,578	▲ 1.7
5 労働費	74,381	72,499	1,882	2.6
6 農林水産業費	2,747,545	3,290,715	▲ 543,170	▲ 16.5
7 商工費	1,118,243	986,522	131,721	13.4
8 土木費	3,787,310	2,795,916	991,394	35.5
9 消防費	1,501,663	1,416,720	84,943	6.0
10 教育費	6,893,772	4,458,833	2,434,939	54.6
11 災害復旧費	228,222	383,707	▲ 155,485	▲ 40.5
12 公債費	4,843,480	4,631,165	212,315	4.6
13 諸支出金	4,090,997	3,009,311	1,081,686	35.9
14 予備費	100,000	100,000	0	0.0
歳出合計	58,020,000	53,181,675	4,838,325	9.1

※ 令和 4 年度一般会計当初予算は骨格予算として編成したため、6 月補正 (内付け) 後の予算額と比較